

好きです!! にしわき わたしのふるさと

今、この時を輝いて生きる
一次世代につなぐ、心豊かな人づくり、まちづくり—

教育委員会や学校園の情報をお知らせします。

地域の皆さんの力を学校運営に

—学校支援地域本部事業—

教育委員会では「学校・家庭・地域」が一体となつて地域ぐるみで子どもを育て、学校教育の一層の充実を図ることを目的とする学校支援地域本部事業を実施しています。

学校支援地域本部事業は、学校・家庭・地域が一体となつて地域ぐるみで子どもたちを育てる体制を整えることを目的として、平成20年度からスタートしました。

学校の授業や活動などに、多くの方が学校支援ボランティアとして登録し、学校の授業や活動の中で子どもたちの学びを支援してくださっています。ここでは、1年生の生活科でのボランティアの様子を紹介します。

「ボランティア」になろう

生活科の授業で家の仕事について学習しています。家族の一員として、家族のために家の仕事をしていこうとする気持ちを育てていきます。ボランティアの方にきていただき靴洗い・アイロンがけのコツを教えてくださいました。



▲アイロンがけを学ぶ子どもたち



コマ回しを体験する子どもたち

家でするきつかけ作りになりました。ボランティアの方の親切丁寧な言葉かけに感謝するとともに多くの優しい大人に触れ合える喜びを感じています。今年も、地域の学校支援ボランティアの方々に学習補助や環境整備等の支援をいただいております。子どもたちの学びの支えになっています。

内容・登録など詳しくは、教育委員会生涯学習課までお問い合わせください。

◆問合せ 生涯学習課
(☎25996)

心のスケッチ

82

人権教育室コラム

インターネットの光と影

私たちの生活において、インターネットは最新のニュースをチェックしたり、メールによるコミュニケーションのやりとりをしたり、ショッピングや旅行などさまざまな予約ができたりと、とても便利で身近なものになってきました。また、スマートフォンの普及により、インターネット等どこにいても扱えるようになりました。

人権に関する県民意識調査結果(2014年3月)によると、関心のある人権問題という項目において、2008年度は「インターネットによる人権侵害」は4番目でしたが、2013年度には1番目になっています。

その中で多いのは、他人へのひどい悪口(誹謗中傷)や差別的な表現などを掲載すること、また、犯罪を誘発する場となっている出会い系サイトがあること、いったん流れた情報の訂正や回収が難しいこと、他人のプライバシーに関する情報を掲載すること、悪質商法によるインターネット

ト取引での被害があることが上位を占めています。そんな中、先日、町別人権学習会に参加しました。DVDを鑑賞し、インターネットが原因で起こる人権課題とその解決策等を話し合いました。中にはスマートフォンや携帯電話をほとんど使われていない方もおられました。しかし、今後ますます情報化・国際化が進む中で、情報機器の改良は日進月歩で、今までの以上に不可欠の物となるでしょう。

自分ではなくても、子どもや孫世代が、人権に関わる被害を受ける可能性は否定できません。自分自身を守りためには、怪しいサイトにはアクセスしない等、危険に近づかないように努めるとともに、学校はもちろん、家庭や友人等、身近なところで継続した学びが重要です。どんなことでも話し合える顔と顔が見える関係を大切にしたいものです。

(人権教育室)

あぐいこうい 88

「自然の恵みを人から人へ」

市では「西脇ファーマーズブランド」を通じて、市内産農産物の魅力向上、自然にやさしい安全・安心な農産物の生産拡大を進めています。



お母さんの味を伝承〜西脇・多可つたの会

皆さんにとって、「お母さんの味」はどんなものですか。北播磨地域では昔から祭りや祝い事などが集まる時に「巻きずし」を作り食べる文化が根付いています。家で採れた野菜や地域食材を具材として利用するため、郷土の味として親しまれています。この慣習や味を生かし、自分たちができることを特産品

化しようと加工グループが結成されるようになりました。全国的にも、地域ごとに農山漁村の女性の経営参画や社会での活躍の場の創出を目的とした「生活研究グループ」があります。西脇地域では「西脇・多可つたの会」と呼ばれており、黒田庄地区のお母さんが中心となった「企業組合黒っこマザーズ」、また多可

町のマイスター工房をはじめとする特産品加工グループ全7グループが参加しています。それぞれ地産地消を目指す中で、地域資源を活用し6次産業化を通じて働く機会を作り出しています。さらに地域への愛着を高め元気にするために、食育体験学習やイベントに積極的に参加し地域の魅力を伝えていきます。人材不足などの課題を抱えています。一人でも多くの笑顔が見たいと活動を続けています。ぜひみなさんも地域のお母さん方が作った特産品を探してみてください。そして、お母さんの味、郷土の味を感じてください。

市長からの手紙

西脇を元気に!!

23



西脇市長 片山象二

「若者たちの視点」を「西脇版総合戦略」に、「国への提案」が二つとも採択!

関西学院大学都市研究会、兵庫教育大学有志、市若手職員による「私たちが未来を創る!事業提案発表会」が開催されました。

「若者たちの視点」を現在、策定中の「まち・ひと・しごと創生総合戦略(西脇版総合戦略)」に取り入れるべく、提案された優れたアイデアは、



事業提案発表会に参加した若者たち

事業化を検討していきたいと思えます。一方で、地方の積極的な取り組みを支援する国の「地方創生先行型交付金事業」に西脇市の2事業が共に採択されました。これらを活用し、市の魅力を発信する「シティプロモーション」「おもてなし事業」、若者を呼び込む「フアッション都市構想」など西脇市ならではの取り組みを進めていきます。

市長就任から2年が過ぎ、任期の折り返しを迎えました。市内8地区で開催した「まちかどミーティング」には多くの方に参加いただき、貴重なご意見をいただきました。それらを踏まえながら、市が抱えるさまざまな課題解決に向けて次年度の予算編成に当たってまいります。

このまちに生まれたことを誇れる「西脇市」をともに創っていきましょう。

西脇市消費生活センター

☎22-3111(防災安全課内)

No.123

強引な訪問購入業者にご注意!!

「不要品があれば、衣類や靴など何でも買い取ります」と電話があり来訪を承諾。業者が家に来たところ「ネックレスや指輪などの貴金属はないか」としつこく迫られ怖かったなど、「訪問購入」のトラブルが増えています。

訪問購入の場合、飛び込みの勧誘はできません。しつこい勧誘や買い取る種類を伝えずに勧誘するのも禁止されています。買い取り時は、業者の連絡先、物品の種類や特徴、購入価格など買い取り条件を書いた契約書を発行しなければなりません。契約する時は、必ず契約書もらい内容を確認しましょう。書面交付から8日間は無条件解約が可能で、物品の引き渡しを拒絶できます。不安な時は物品を引き渡さず、手元においておくなど、注意が必要です。訪問時は1人で対応せずに家族や友人に同席してもらいましょう。また、事前に売りたい物品の価格を調べておくなど、買い取り価格を査定してもらい納得したうえで契約しましょう。買い取りしてもらえないときはきっぱりと断り、不安を感じたり、困ったりした時は消費生活センターにご相談ください。